



2025 Super FJ Japan League Rd.1



Super FJ 鈴鹿・岡山シリーズ 第2戦

OKAYAMA CHALLENGE CUP RACE

2025年3月30日 岡山国際サーキット 天候:曇り/晴 参加15台



テキスト:はた☆なおゆき

スーパーFJ 鈴鹿・岡山シリーズの第2戦が、3月30日にすっかり春の装いをまとった、岡山国際サーキットで開催され、「スーパーFJ ジャパンリーグ」とのWタイトルとあって、15台のエントリーを集めた。今年は今全7大会・8戦で争われる「スーパーFJ ジャパンリーグ」は、ジャパンスカラシップシステム(JSS)設定の全国転戦シリーズで、昨年のチャンピオン小田優選手はRn-sports(ルーニースポーツ)のスカラシップにより、フォーミュラリージョナル(FRJ)にステップアップが決定。5サーキットを戦った経験は、新天地でも大いに活かされるはずだ。どのサーキットでも速く、そして強いドライバーに広がるチャンスは無限大である。

公式予選

プログラムを見て、驚いた方は少なくないはずだ。最近では珍しくドライバーの年齢が記されていたのだが、16歳が3人、17歳が5人もいたのである！その他にも18歳と19歳がひとりずついて、つまり半数以上が10代なのだ。こんなレース、かつてあったらどうか？若手ドライバーの関心が高まっているのは、どうあれ喜ばしいことだ。

今回は1Day レースのため、予選は日曜日の 8 時 50 分から、15 分の計測で競われた。上空には雲は浮かんでいたが、どうやら雨の心配はなさそうだ。

今年も全国のレースに積極的に参戦する、#22 酒井翔太選手(ファーストガレージ制動屋)が岡山でも絶好調。計測2周目には早くも 1 分 40 秒 964 をマークしてトップに立ったのだ。次の周に開幕戦ウィナーでもある、#6 吉田馨選手(TAKE FIRST KKS-II)が 1 分 40 秒 919 でトップに立つも、その直後に赤旗が。ヘアピンでコースアウトした車両があり、#22 酒井選手がコントロールラインを通過したのは、赤旗提示後……。

しかし、#22 酒井選手にとっては、これが幸いして再開後は先頭でコースインすることができ、クリアラップが取れた状態で周回を重ねていく。いきなり 1 分 40 秒 397 を記すと、さらに次の周には 1 分 39 秒 843 にまでタイムを縮める。

2 番手は#6 吉田選手で 1 分 40 秒 327、3 番手が#8 西田光来選手(FTK REV RACING GARAGE)で 1 分 40 秒 402、4 番手が開幕戦のポールシッター#56 箕浦稜己選手(MYST SEIDOYA KK-SII)で 1 分 40 秒 416、そして#10 杉田悠真選手(LAPS with REV RACING)で 1 分 40 秒 519 と、2 番手から 5 番手までは僅差。それだけ#22 酒井選手が抜け出しているのは明らかだ。

だが、これでタイムアタックは終了となってしまふ。2コーナーでコースアウトした車両があり、再び赤旗が出されていたからだ。しかも再開はかなわず。#22 酒井選手がポールポジションを獲得し、連勝を目論む#6 吉田選手が 2 番手。3 番手の#8 西田選手は 17 歳で、今回がデビューレースとなる。

ポールポジション：#22 酒井翔太選手(ファーストガレージ制動屋)

「今週の練習からずっと8秒台で走っていて、ペースも良かったんですけど、この週末でいちばん路面温度が低くて、走った時間も朝早かったということもあったし、やっぱり 2 回も赤旗が出ちゃったので、全然タイムを出しきれていない中では出せたから、まあ、それは良かったかなと。最初は遅れて出て、最初の赤旗の後は先頭になれて、ひとりで走ることができました。けっこう作戦どおりになりましたね。決勝も頑張ります」



予選 2 番手：#6 吉田馨選手(TAKE FIRST KKS-II)

「タイムはちょっと想定より遅かったんですが、赤旗が出て、思うようにタイヤが温まらなかったの、そこそこかな……と思うんですが、トップとの差がありすぎていて、もうちょっと行けたんじゃないかと思っています。ちょっと厳しいところなんですけど、決勝は」



予選 3 番手：#8 西田光来選手(FTK REV RACING GARAGE)

「トップと差が大きいので、決勝に向けて自分の改善すべきところを改善します。赤旗もけっこう影響しました。タイヤを温めるのに苦戦していて、それがトップとの差じゃないかという感じですね。去年は 1 年間、シミュレーターで練習していて、それまではカートでシニア MAX を戦っていました。ポテンシャルはかなりあると思っているので、自分が活かせば、勝てるチャンスはあると思います」



決勝レース



決勝レースを迎える頃には、上空にはまだ雲があるものの、時折強い日差しも漏れるようになって、予選よりは確実に路面温度も上がっていた。なお、戦いは12周もしくは25分で競われる。

フォーメーションラップでアクシデントが発生。2番手の#6 吉田選手がグリッドにつかず、ピットに戻ってきたのだ。そして、その直後にスタートディレイのアナウンスが。#6 吉田選手のマシンのミッションに穴が空き、Wヘアピンからピットロードにかけ、オイルが撒かれてしまったためだった。

オイル処理に時間を要し、スタート進行が再開されたのは約20分後。そして1周減の11周で、さらにセーフティカー(SC)スタートでの開始に改められた。これは自称(失礼!)スタートが苦手の#22 酒井選手にとっては、さらなる好機となったはずだ。2周のSC先導を経て、いよいよバトル開始!

加速のタイミングも絶妙だった#22 酒井選手が、コントロールライン通過時で1秒半も差をつけ、トップで1コーナーに飛び込んだのは言うまでもないが、それ以上に鋭いダッシュを決めていたのが#10 杉田選手だ。1コーナーで#56 箕浦選手をパス、その勢いでオープニングラップのうちに、#8 西田選手をもかわして2番手に上がっていた!

#10 杉田選手の、まさに電光石火といった具合だったが、その間に#22 酒井選手はリードをさらに広げることに。5周目には予選タイムをも上回るファステストラップ、1分39秒750さえ叩き出していた。だが、その直後にアトウッドでコースアウトして止まった車両があり、再びSCが導入されてしまう。これにより、3秒半まで広げたリードが水の泡となり、しかも#10 杉田選手と#8 西田選手、#56 箕浦選手らがピタリと続いているだけに、#22 酒井選手にとっては願ってもいない状況に。SCの先導は3周に及び、残り1週の超スプリントバトルとなった。

またしてもコントロールラインでは、ほぼ1秒の差をつけていた#22 酒井選手ながら、その先のコーナーでの速さでは明らかに#10 杉田選手の方が優り、バックストレートで並ばれる。ヘアピンをアウトから攻めた#10 杉田選手ではあったが、ここはしっかり#22 酒井選手がガード。さらに#8 西田選手も近づき、最後は3台が連なってチェッカーを受けるも、順位が入れ替わることはなく……。



#22 酒井選手が岡山、そして鈴鹿・岡山シリーズでの初勝利をポール・トゥ・ウィンで飾り、2年目の

#10 杉田選手が 2 位に。さらに#8 西田選手がデビュー戦でいきなり表彰台に上がることとなった。4 位は#11 土橋皇太選手(Rn-sports 制動屋 KK-S2)が獲得。ラスト1周の戦いで、#56 箕浦選手を抜き去っていた。そして 6 位は#43 五十嵐文太郎選手。予選こそ 10 番手だったが、じわりじわりと順位を上げてきた格好だ。

次のジャパンリーグはスポーツランド SUGO で 5 月 10~11 日に、そして鈴鹿・岡山シリーズは第3戦として、鈴鹿で 7 月 12~13 日に開催される。いずれも#22 酒井選手の快進撃は続くのか、大いに注目したいところだ。



優勝: #22 酒井翔太選手(ファーストガレージ制動屋)

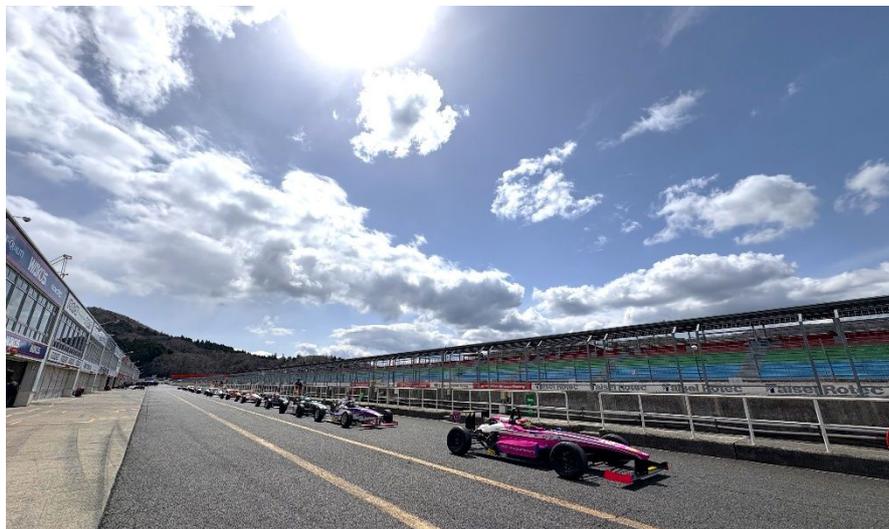
「まあ、運が良かったのかな、って言うのもありますけど、SC スタートで、自分のペースで走れたのは良かったです。でも、思ったよりペースが悪くなくて、もうちょっと話せると思ったので、そこがちょっと…だったんですけど、そのまま逃げられて良かったです。ただ、リスタート後は、ちょっとペースなかったですね」

2位: #10 杉田悠真選手(LAPS with REV RACING)

「1コーナーでひとり抜いて、もうひとはヘアピンかな？ すいません、集中していたので覚えていません。SC スタートになって、タイヤをしっかりと温められたのが一番で、うまくいったと思います。最後、もう1周欲しかったですね。いい感じで追いついたので、少しミスもありましたが、それがレースなので。次は絶対勝ちたいです、はい、勝ちます！ 2年目で、去年はここ(岡山)で3位でした」

3位 #8 西田光来選手(FTK REV RACING GARAGE)

「自分の実力不足をかなり感じるようなレースでした。SC スタートでかなり出遅れているし、普通にスタートしていれば、不安要素でしたから、それがなかったのは良かったですけど……。でも、そうですね、ローリングでもかなり出遅れているので、そこはしっかり改善しないとダメだなと。それでも、まだ自分には伸び代があると思っています」





CHALLENGE CUP RACE 2025 OKAYAMA International Circuit

№ 9

2025 OKAYAMAチャレンジカップ レース 第2戦
鈴鹿・岡山 S-FJ選手権 第2戦 (2025 SuperFJ シェパソンリーグ Round. 1)
公式予選 正式結果

スタート時間 : 8:50:00

主催 : 株式会社岡山国際サーキット/ アイダクラブ (AC)

2025.03.30 発表 10:10

天候 : 曇り

コース状況 : ドライ

岡山国際サーキット 3.703km

順位	ゼッケン	ドライバー	モデル	車名	ベストタイム	トップ差	Gap	周回	%	ベスト時刻
1	22	酒井 翔太	KK-SII	ファーストガレージ制動屋	1'39.843			7/7	99.652	09:10:10
2	6	吉田 馨	KK-SII	TAKE FIRST KKS-II	1'40.327	0.484	0.484	8/8	100.136	09:10:13
3	8	西田 光来	KK-SII	FTK-REV RACING GARAG	1'40.402	0.559	0.075	8/8	100.210	09:10:15
4	56	箕浦 稜己	KK-SII	MYST SEIDOYA KK-SII	1'40.416	0.573	0.014	8/8	100.224	09:10:18
5	10	杉田 悠真	KK-SII	LAPSwITHREVRACING	1'40.519	0.676	0.103	8/8	100.327	09:10:16
6	11	土橋 皇太	KK-SII	Rn-sports制動屋KK-S2	1'41.099	1.256	0.580	7/7	100.906	09:10:34
7	12	宮本 颯斗	KK-SII	J-LOC	1'41.397	1.554	0.298	8/8	101.204	09:10:25
8	1	元山 泰成	KK-SII	Ecotech Racing	1'41.442	1.599	0.045	8/8	101.248	09:10:21
9	34	藤井 翔大	KK-SII	Drago CORSE	1'41.500	1.657	0.058	8/8	101.306	09:10:23
10	43	五十嵐 文太郎	KK-SII	Drago CORSE	1'42.185	2.342	0.685	8/8	101.990	09:10:31
11	55	板倉 慎哉	KK-SII	AMORE TOKYO	1'42.529	2.686	0.344	4/8	102.333	08:57:44
12	15	永原 蒼翔	KK-SII	ピットワークながはら/MYST	1'42.654	2.811	0.125	6/6	102.458	09:08:46
13	47	G 山根 一人	KK-SII	光精工 TK-Sport MYST	1'43.331	3.488	0.677	3/6	103.134	08:56:34
14	61	一宮 總太朗	KK-SII	MYST KK-SII	1'45.156	5.313	1.825	3/3	104.955	08:56:12
15	9	G 上吹越 哲也	KK-SII	FTK・レヴレーシングガレージ	1'45.932	6.089	0.776	6/6	105.730	09:08:57

----- 以上予選通過基準タイムクリア -----

赤旗提示 ① 8:58 ~ 9:05 ② 9:10 ~ 予選終了

クラス : G=シエンルマントライバークラス

2025 OKAYAMAチャレンジカップ レース 第2戦
 鈴鹿・岡山 S-FJ選手権 第2戦 (2025 SuperFJ シゃハソリーグ Round. 1)
決勝 正式結果

主催：株式会社岡山国際サーキット/ アイダクラブ (AC) スタート時間：13:13:00
 2025.03.30 発表 14:47 チェック時間：13:36:56
 天候：晴れ コース状況：ドライ 岡山国際サーキット 3.703km

順位	車番	ドライバー	モデル	車名	周回	所要時間	km/h	トップ差	ベストタイム	周回
1	22	酒井 翔太	KK-SII	ファーストガレージ制動屋	11	23'56.128	102.107		1'39.750	5
2	10	杉田 悠真	KK-SII	LAPSwitHREVRACING	11	23'56.600	102.074	0.472	1'39.815	6
3	8	西田 光来	KK-SII	FTK・REV RACING GARAG	11	23'57.191	102.032	1.063	1'40.228	6
4	11	土橋 皇太	KK-SII	Rn-sports制動屋KK-S2	11	23'59.785	101.848	3.657	1'40.832	6
5	56	箕浦 稜己	KK-SII	MYST SEIDOYA KK-SII	11	23'59.934	101.837	3.806	1'40.002	6
6	43	五十嵐 文太郎	KK-SII	Drago CORSE	11	24'00.145	101.822	4.017	1'40.983	6
7	1	元山 泰成	KK-SII	Ecotech Racing	11	24'00.432	101.802	4.304	1'41.209	11
8	34	藤井 翔大	KK-SII	Drago CORSE	11	24'00.894	101.769	4.766	1'40.739	6
9	55	板倉 慎哉	KK-SII	AMORE TOKYO	11	24'01.735	101.710	5.607	1'40.868	6
10	47	G 山根 一人	KK-SII	光精工 TK-Sport MYST	11	24'03.487	101.587	7.359	1'40.789	6
11	12	宮本 颯斗	KK-SII	J-LOC	11	24'03.749	101.568	7.621	1'40.878	5
12	61	一宮 總太郎	KK-SII	MYST KK-SII	11	24'04.838	101.492	8.710	1'42.090	6
— 以上完走 —										
	15	永原 蒼翔	KK-SII	ピットワークながはら/MYST	5	10'31.442	105.558	6 Laps	1'41.023	5
	6	吉田 馨	KK-SII	TAKE FIRST KKS-II				スタート出来ず		
	9	G 上吹越 哲也	KK-SII	FTK・レヴレーシングガレージ				スタート出来ず		

※本決勝レースは、2025 OKAYAMAチャレンジカップ レース 特別規則書 第9章 第31条 3. ⑧ (スタート・イレイト) により1周減算の11周にて行った。
 ※本決勝レースは、国際モータースポーツ競技規則 付則H項 第2章 2.10.1 を適用、セーフティスタートとした。

SC導入 ①13:13:00 ~ 13:17:46 ②13:26:07 ~ 13:34:39

15	9	G 上吹越 哲也	KK-SII	FTK・レヴレーシングガレージ	1'45.932	6.089	0.776	6/6	105.730	09:08:57
————— 以上予選通過基準タイムクリア —————										

赤旗提示 ① 8:58 ~ 9:05 ② 9:10 ~ 予選終了

クラス：G=ジュニアマントライバークラス

